

## <目指せ！1等米比率90%以上継続！>～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

本年の幼穂形成期は、4月23日播種のほ場で、近年より5日早い7月11日となりました。  
近年に比べて草丈は並み、茎数は少なく、葉色は並みとなっています  
今後、平年並みの気象で経過した場合、出穂期は、8月3日頃と見込まれます。  
登熟期間の稲体活力維持のため、生育ステージにあわせた水管理の徹底と適期防除に努めましょう。

表1 直播コシヒカリ(カルパー)の生育状況(7月11日現在) ※近年値はH28～R4

	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢	葉色	幼穂形成期	出穂期
R5	4/23	75.6	497	12.3	4.1	7/11	8/3頃
R4	4/22	77.7	487	10.9	3.9	7/12	8/3
近年	4/28	73.4	556	11.1	4.0	7/16	8/6

### 1 今後の水管理

#### 今後も気温が高いと見込まれるため、こまめな水管理を！！

##### 【幼穂形成期以降】

- 田面に常に水がある「**飽水管理**」

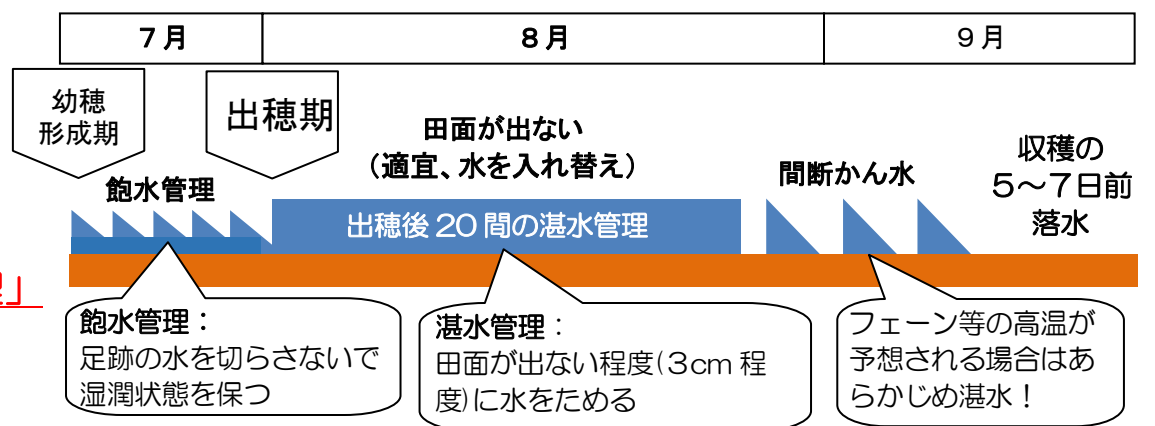
直播水稻の根は、うわ根に依存するところが

##### 【出穂期から20日間】

- 常時水が3cm程度溜まっている「**湛水管理**」

##### 【収穫の5～7日前まで】

- 落水を急がず「**間断かん水**」



### 2 出穂前の葉色確認・追加穂肥

- 原則追加穂肥は不要です。ただし、出穂7～10日前頃に葉色を確認し、葉色4.0(砂壤土では4.2)を下回る場合は、出穂3日前までに追肥3号で7kg/10aを施用し、穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)へ誘導しましょう。

※極端に早い穂肥は過剰籾数による品質低下や倒伏を招く恐れがあるため注意しましょう。

### 3 病害虫防除

注意

#### 今年も斑点米カメムシ類が多発生！

- 本田防除は、穂揃期(8/6～8頃)と傾穂期(8/13～15頃)の基本防除を徹底しましょう(表2)。
- カメムシ類の防除効果を高めるため、散布間隔は7日間を目安とし、10日間以上あけないようにしましょう。また防除の際には畦畔にも薬剤がかかるように散布しましょう。
- やむを得ず畦畔にある穂の出ているイネ科雑草を刈る場合は、本田薬剤防除の直前に行いましょう。

雑草地カメムシ密度調査(6/27)  
・発生地点率 100%(平年値:93%)  
・1地点あたりすくい取り頭数 10.4

表2 防除時期の目安

防除体系	防除時期	農薬名	対象病害虫	10a当たり散布量
粉剤	穂揃期	ラブサイドキラップ粉剤DL	いもち病、カメムシ類、ウンカ類	4kg
	傾穂期	スタークル粉剤DL	カメムシ類、ウンカ類	3kg
液剤	穂揃期	ラブサイドK2フロアブル	いもち病、カメムシ類、ウンカ類	薬剤100ml 水100・ 1000倍
	傾穂期	スタークルメイト液剤10	カメムシ類、ウンカ類	
粒剤	出穂10日前	フジワンラップ粒剤	いもち病、カメムシ類、ウンカ類	4kg

※防除に当たっては、必ずラベルを確認し、農薬使用基準を守りましょう。

※農薬の散布は、使用基準を必ず守り、風速・風向きに注意し、周辺への飛散防止に努めましょう。

熱中症注意

農作業の際は、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！